







Patent Number:

LAYER

JP61160229

Publication date:

1986-07-19

Inventor(s):

SHIMOMURA TAMAZOU

Applicant(s)::

DAINICHI NIPPON CABLES LTD

WELDING PROCESS OF CONDUCTIVE RUBBER PLASTIC

Requested Patent:

☐ JP61160229

Application Number: JP19840279601 19841231

Priority Number(s):

IPC Classification:

B29C65/36

EC Classification:

Equivalents:

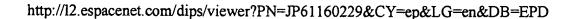
JP1767757C, JP4050894B

Abstract

PURPOSE: To thermal-weld a conductive rubber-plastic layer to a rubber plastic molded product by heating only the conductive rubber-plastic layer, while keeping the rubber-plastic molded product at unheated state.

CONSTITUTION: When the magnetic field from a high frequency magnetic field generator 3 is radiated on a conductive rubber-plastic layer 2, the voltage, as a magnetic field generating source acting so as to deny said magnetic field as its reaction, is generated. The generation of such voltage is limited to conductive material, and it is not generated in the dielectric such as rubber-plastic molded product. If the conductivity of the rubber-plastic layer is equal to 10<5>OMEGA.cm or less (e.g. 10<-3>OMEGA.cm-10<5>OMEGA.cm), the voltage, as a reaction, is generated only in the rubber-plastic layer 2. The conductive rubber-plastic layer 2 is only heated by electrically generated heat due to said voltage, thereby thermal welding the conductive rubber-plastic layer 2 to a rubber-plastic molded product 1.

Data supplied from the esp@cenet database - I2



に 熱 散着 し 得る 方法を 提供 する こと に ある。 〈 発明 の 権 成 〉

本発明に保る導電性ゴム・ブラステック勝を融着する方法はゴム・ブラステック成形体に導電性ゴム・ブラステック層を被覆し、該導電性ゴム・ブラステック層を誘導加熱によりゴム・ブラステック成形体に無融着させることを特徴とする方法である。

く実施例の説明>

以下、図面により本発明を説明する。

図において、1はゴム・ブラスチック成形体であり、 導電性 乃至は半導配性のものは含まない。 2はゴム・ブラスチック成形体上に被覆した導電性ゴム・ブラスチック隔であり、 導電性ゴム・ブラスチック 強料の数布等により 設ける ことができる。 3 は誘導加熱装置の高周波 磁界発生器である。

図において、導電性ゴム・ブラスチョク層に 高周波磁界発生器からの磁界を照射すると、そ

(3)

本発明に保る導電性ゴム・ブラスチック騒を加熱酸着する方法は、誘導加熱を利用しており、導電性ゴム・ブラステックの導電率が材料的に
誘限されるにもかかわらず、磁界周波数の増大によつて発生熱を効果的に増大でき、導電性ゴム・ブラスチックの加熱酸着を容易に行い得る。

4. 図面の簡単な説明

図面は本発明を示すための説明図である。 図において、1はゴム・ブラスチック成形体、 2は導電性ゴム・ブラスチック層、3は高周被 磁界発生器である。 の反作用としての電圧が発生する。かかなである。 発生するのは課電体には発生しない。 発生するのは課電体には発生しない。 発生するのは課電体には発生しない。 のは課電をはない。 のはではないでのではできる。 のはできる。 のはではないできる。 のはできる。 ののではできる。 ののできる。 ののでできる。 ののできる。 ののできる。 ののできる。 ののできる。 ののできる。 ののできる。 ののできる。 ののできる。 ののできる。 ののでできる。 ののできる。 ののでできる。 ののできる。 ののでできる。 ののでできる。 ののでできる。 ののでできる。 ののでできる。 ののでできる。 ののでできる。 の

上記反作用としての 뜁圧 V は、磁束を B 、磁界 周波数を f と すれば $V \propto B f$ の関係にあり、従つて、 発生 無は $\rho B^2 f^2$ (ρ : 導電率) で与えられ、 既述した 電源による直接通電加熱の場合とは 異なり、 周波数の 高周波化により発生熱を増大できる。

く発明の効果>

本発明はゴム・ブラスチック成形体の表面に

(4)

図面の浄客(内容に変更なし)

